

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 市民と連携し火災を予防する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2001 火災の予防対策をつくる	【基本計画区分】	404【担当課】 6002000 予防課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
市民と連携して火災を出さない環境をつくる とともに、火災が発生しても拡大させない環 境をつくる	火災の原因である「放火」は、家のまわりの燃えやすいものなどの放置 に起因することが多く、また「たばこ」「こんろ」など、うっかり火災も後を 絶たない。	200101	火災原因究明事業	現状維持 人口が増加する中、これ以上の火災の出火率の低下は全 国的なレベルと比較しても妥当な数字と思われるので現 状維持が適当と思われる。
		200102	火災警戒・警備事業	

【今後の課題】
人口が増加する中、火災の出火率の低下は全国的なレベルと比較し
ても妥当な数字と思われるので現状維持が適当と思われる。

【重要性】
火災発生率を減らすには、火災の原因を分
析し、発生危険要素を除去することが必要で
ある

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
出火率は、年々低下しており、市民の防火意識の高揚と火災の発生 しにくい社会環境づくりが出来た。	過去5年間の最低出火率を めざす			3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
	(件)			3.1	3.2	3.5	2.8	2.6
				0	0	0	0	0
	()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	1	市民と連携し火災を予防する									
【基本事務事業】	2001	火災の予防対策をつくる	担当課:	6002000										
【事務事業】	200101	火災原因究明事業	予防課											
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
火災の原因・損害を究明し火災予防思想の普及や警防対策の向上を図る。	168件火災発生(%)	松戸市の火災と救急救助パンフレット5,000部作成住宅用火災警報器設置促進パンフレット40,000部作成防火防災指導796件ひとり暮らし高齢者防火診断292訪問	100	100	100	100	100	計画額	555	464	470	446	452	
	(0)		100	100	100	100	100	(一般財源)	555	464	470	446	452	
			0	0	0	0	0	0	予算額	555	464	470	406	886
			0	0	0	0	0	(一般財源)	555	464	470	406	886	
			0	0	0	0	0	0	決算額	358	373	458	401	863
			0	0	0	0	0	0	職員数	7.23	7.23	7.23	7.23	7.23
【対象】								【業務】						
市民(市内居住者)								火災調査を実施する うっかり火災をなくす 放火されない環境をつくる						
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
火災原因の調査を市民指導に活用し、パンフレットの作成を図った。								引き続き、火災原因の調査を市民指導に活用し、パンフレットの作成を図る。						

【計画事業】

【計画事業名】 火災予防・防火査察対策事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	1 うっかり火災の原因別対策分析と市民向けパンフレットの作成 2 放火防止対策の分析と市民向けパンフレットの作成	1 うっかり火災の原因別対策分析と市民向け視聴覚資器材の作成 2 放火火災防止対策市民向け視聴覚資器材の作成	1 うっかり火災0をめざし災害弱者の住宅防火(ひとり暮らし高齢者)を促進 2 放火火災多発地域に重点を当てた放火させない・放火されない環境づくりの促進	1 うっかり火災0をめざし災害弱者(障害者等)の住宅防火を促進 2 放火防止対策市民向けパンフレットの作成	1 うっかり火災の上位原因別対策の徹底広報 2 放火火災多発地域に放火防止推進委員会設置促進
実績	2,000部パンフレット作成	2,000部パンフレット作成出前講座	2,000部パンフレットの作成 40,000部パンフレット作成出前講座	2,000部パンフレットの作成	5,000部パンフレットの作成

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	1	市民と連携し火災を予防する				
【基本事務事業】	2001	火災の予防対策をつくる	担当課:	6002500					
【事務事業】	200102	火災警戒・警備事業	消防救急課						
			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	404	戦略区分	—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
各種催事、年末年始等における事故、災害等の防止	警戒区域内の火災等発生件数(件)	10件—当年火災発生件数	10	10	10	10	10	計画額	0	0	0	0	0	
			7	9	9	3	9	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
									決算額	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	職員数	17.46	17.46	17.46	17.46	17.46		
			0	0	0	0	単位) 事業費：千円 職員数：人							
	(0)		0	0	0	0	【業務】	松戸花火大会消防警備を実施する 年末年始火災特別警戒を実施する 葛飾納涼花火大会警備を実施する 催事警備(各種イベント)を実施する						
【対象】			【指標値】上段：予算目標 下段：実績											
市民(通勤・通学者を含む)														

【定量分析】:課題・現状分析

各種催事、年末年始等における事故、災害等の防止を図ることを目的とし、市民と連携し火災等を予防した。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

火災を予防し、火災が発生しても被害を最小限に食い止める環境をつくる。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 市民と連携し火災を予防する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2002 事業所からの火災発生を防ぐ	【基本計画区分】	404【担当課】 6002000 予防課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
市民と連携して火災を出さない環境をつくる とともに、火災が発生しても拡大させない環 境をつくる	死者が多数発生するなど社会的影響の大きい火災は、防火意識が低 く防火戸、その他消防用設備の不備により火災が拡大し、死者が発 生している。	200201	事業所火災発生防止事業	現状維持 事業所の防火に対する意識の温度差を少なくし、引き続き 防火意識の向上、消防設備の設置及び維持管理につい て指導する。

【今後の課題】
事業所の防火に対する意識の温度差を少なくし、引き続き防火意識
の向上、消防設備の設置及び維持管理について指導する。

【重要性】
火災拡大の要因は、消防用設備の不備によ
るものが多い。

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
社会経済及び事業所の防火に対する意識の向上は、各事業所に温 度差はあるもの少しづつではあるが、向上している。	事業所の出火率			0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	(%)			0.6	0.6	0.4	0.3	0.3
	()			0	0	0	0	0
	()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	1	市民と連携し火災を予防する								
【基本事務事業】	2002	事業所からの火災発生を防ぐ	担当課:	6002000									
【事務事業】	200201	事業所火災発生防止事業	予防課										
			会計区分	一般会計	計画区分	計画事業	404	戦略区分	成長				
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
火災予防査察を実施し、法令適合及び消防用設備等の維持管理について指導する。	4,211件(%)	防火対象物査察件数	100	100	100	100	100	計画額	272	1,025	1,018	625	610
			100	100	100	100	100	(一般財源)	272	1,025	1,018	625	610
								予算額	272	1,025	1,059	610	600
	208件(%)	危険物施設査察件数	100	100	100	100	100	(一般財源)	272	1,025	1,059	610	600
			100	100	100	100	100	決算額	890	1,132	1,058	601	599
								職員数	33.76	33.76	33.76	33.76	33.76
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	是正率62.5パーセント(%)	是正数1,457/通知書交付数2,332	52	54	56	58	60	【業務】	建築物等の指導をする 危険物等の指導をする 査察対象物の安全維持管理を指導す				
建築物等の関係者 危険物事業所の関係者 事業者			69.3	63.4	62.2	58.9	52.8						
			【指標値】上段：予算目標 下段：実績										
	【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
	火災予防査察を実施することにより、法令遵守、防火管理の充実及び消防用設備の適正な維持管理を徹底することができた。					今後も引き続き、事業所及び危険物施設等の火災予防査察を実施し、法令適合違反の是正及び火災危険要素の排除を厳しく指導いたします。							

【計画事業】

【計画事業名】 火災予防・防火査察対策事業(一部)

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	1 予防執行体制の充実強化(1) 査察の強化(2) 違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1) 火災原因調査(2) 違反処理	1 予防執行体制の充実強化(1) 査察の強化(2) 違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1) 火災原因調査(2) 違反処理	1 予防執行体制の充実強化(1) 査察の強化(2) 違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1) 火災原因調査(2) 違反処理	1 予防執行体制の充実強化(1) 査察の強化(2) 違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1) 火災原因調査(2) 違反処理	1 予防執行体制の充実強化(1) 査察の強化(2) 違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1) 火災原因調査(2) 違反処理
実績	通知書交付数1,497件防火管理講習会3回屋内消火栓操作大会1	通知書交付数2,037件防火管理講習会3回屋内消火栓操作大会	通知書交付数2,332件防火管理者講習会4回屋内消火栓操作大会1	通知書交付数2,886件防火管理者講習会5回屋内消火栓操作大会1	通知書交付数2,465件防火管理者講習会5回屋内消火栓操作大会1

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 市民と連携し火災を予防する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2003 火災が発生しても自ら被害を最小限に食い止める環境をつくる	【基本計画区分】	404【担当課】 6002000 予防課

【目的】	市民と連携して火災を出さない環境をつくる とともに、火災が発生しても拡大させない環境をつくる	【背景】	統計的にも、消防隊が現場到着するまでの時間に初期消火があった場合、被害を最小限に抑えることができています。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	現状維持
				200301	市民防火協力体制確立事業		防火・防災意識の低下を防ぐため今後も継続的な自衛意識の向上を図る。

【今後の課題】
防火・防災意識の低下を防ぐため今後も継続的な自衛意識の向上を図る。

【重要性】
自分たちの街、自分たちの企業は自分たちで守るという自衛意識の向上を図る。

【現状分析】	建物全焼火災が少ない傾向であったため損害額の減少傾向にあった。	【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			過去5年間の最低損害額をめざす	246.1	246.1	246.1	246.1	246.1
			(百万円)	174.8	342.1	282.7	113	157.5
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	1 市民と連携し火災を予防する
【基本事務事業】	2003 火災が発生しても自ら被害を最小限に食い止める環境をつくる	担当課:	6002000
【事務事業】	200301 市民防火協力体制確立事業	予防課	
		会計区分	一般会計
		計画区分	一般事業
		404	戦略区分
			回避
【目的】	住民・事業所・外郭団体の火災対応力を高めるため、指導育成する。	【指標】	初期消火成功率(%)
		【指標概要】	69初期消火のみで消火した火災/火災件数
		[H15]	68
		[H16]	69
		[H17]	70
		[H18]	71
		[H19]	72
		【事業費】	計画額
			3,698
			(一般財源)
			3,698
			2,830
			2,858
			2,823
			2,817
			2,851
			(一般財源)
			3,698
			2,830
			2,823
			2,817
			2,851
			決算額
			4,456
			3,377
			2,465
			2,568
			2,838
			職員数
			5.52
			5.52
			5.52
			5.52
			5.52
			単位) 事業費:千円 職員数:人
【対象】	市民、事業者、外郭団体	【業務】	屋内消火栓操法指導業務 危険物安全協会等補助金 防火協会補助金 幼少年女性防火委員会補助金 火災予防運動推進業務

【定量分析】:課題・現状分析
屋内消火栓操法大会の開催することにより、事業所が初期消火の重要性及びその効果を十分に参加者へ指導することができ、事業所からの出火を軽減することができた。また、防火協会、危険物安全協会、幼少年女性防火委員会等の外郭団体を支援することによる防火防災意識の向上を図ることができた。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
今後も引き続き、訓練等を通じ事業所及び外郭団体への防火思想の啓蒙を実施します。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2004 都市の発展に応じて消防署を適正に配置する	【基本計画区分】	404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が発生しても迅速的確な消防活動により、火災を拡大させない体制を確立する	開発、道路整備により都市形態も変化していくが、市民ニーズに応えるためには市域を想定した目標設定が必要である。	200401	遠隔地解消事業	消防力の整備指針に基づき、社会情勢や地域の実情等を考慮した上で消防力の整備目標を策定する必要がある。
		200402	消防本部応援体制確立事業	

【今後の課題】
既存消防署の検証

【重要性】
消防署の適正配置により、市内全域に対し、通報から放水開始までの所要時間を目標設定することで災害への迅速性が図れる。

【現状分析】
消防力の整備指針に基づき、署所等の適正配置における検討は今後も必要であるが、職員個々や小隊単位の技術向上により、放水開始までの時間短縮がなされている。

【指標】	上段:予算目標	下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
出場から放水開始まで6.5分			6.5	6.5	6.5	6.5	6.5
(分)			6.3	5.8	5.3	5.3	4.8
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2004 都市の発展に応じて消防署を適正に配置する	担当課:	6001000
【事務事業】	200401 遠隔地解消事業	消防局企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
災害への活動開始時間の短縮を図るため調査分析する。	調査率(%)	調査数/調査項目	100	100	100	100	100	計画額	0	0	0	0	0
			100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								決算額	0	0	0	0	0
								職員数	38.45	38.45	38.45	38.45	38.45
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	都市道路計画等を調査する 災害種別ごとの発生場所を分析する				
被災者			0	0	0	0	0						

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析

消防署の適正配置により松戸市全域をカバーする消防体制を構築するための事業として、都市計画の発展に応じて消防署の適正配置を今後も実施する。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も、社会情勢や地域の実情を考慮した上で、消防力の整備指針に基づいた消防力の整備が必要である。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2004	都市の発展に応じて消防署を適正に配置する	担当課:	6002500	
【事務事業】	200402	消防本部応援体制確立事業	消防救急課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
相互応援体制の確立1緊急消防援助隊の派遣及び応援体制を確立する。2千葉県消防広域応援及び応援体制を確立する。	応援派遣要請を受けた回数(件)	応援派遣要請を受け派遣した実績数値	66	66	66	66	66	計画額	0	0	4,000	0	0
			131	136	131	58	47	(一般財源)	0	0	2,200	0	0
	応援を受けた回数(件)	応援を受けた実績値	0	0	0	0	0	予算額	0	0	4,000	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	2,200	0	0
	(0)			0	0	0	0	決算額	0	0	3,990	0	500
【対象】 被災者・消防職員・応援に来た部隊			0	0	0	0	0	職員数	28.29	28.29	28.29	28.29	28.29
			0	0	0	0	0	【業務】	災害対策応援業務 単位) 事業費:千円 職員数:人				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

救急の応援出場については減少傾向にある。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

緊急消防援助隊・千葉県消防広域応援体制を確立し、また隣接6都市との相互応援が滞り無く行われた。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2005 消防施設の機能を強化する	【基本計画区分】	404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業縮小
焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が発生しても迅速的確な消防活動により、火災を拡大させない体制を確立する	阪神淡路大震災から耐震基準が見直された	200501	中央消防署建設事業	本事業において消防センターの改築における候補地の調査及び用地の確保が最重要課題とし、今後も本事業を継続すべき事業と捉えます。
		200502	小金消防署建設事業	
		200503	消防施設管理事業	
		200504	消防団施設整備事業	

【今後の課題】
施設維持管理の徹底、委託形態の見直し

【重要性】
災害対応の拠点である消防施設が倒壊、損壊した場合、広域な災害対応が図れない

【現状分析】
消防署の建設事業における建設用地の確保等の諸問題を解決する必要性が、本事業においては一つの課題となる。

【指標】	上段:予算目標	下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
耐震基準適合率			100	100	100	100	100
(%)			100	100	100	100	0
()			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2005 消防施設の機能を強化する	担当課:	6001000
【事務事業】	200501 中央消防署建設事業	消防局企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
大規模災害時等における危機管理体制の確立及び耐震性の向上を図るため、方面本部機能を充実させる	計画策定数(建設・移転)(件)	中央消防署の建設計画を策定する	0	0	1	0	0	計画額	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
【対象】被災者	()		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
					単位) 事業費:千円		職員数:人							
			0	0	0	0	0	0	【業務】	建設用地を確保する 建築設計案を策定する 基幹消防署機能を検証する				

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析
中央消防署の実態調査及び消防署の適正配置を検討を実施するも、より優先すべき消防署建設事業があるため、本事業は差し控える形をとった。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
調査検討の結果、中央消防署の建設事業は、今後実施しなくてはならない事業ではあるが他の消防署(小金消防署)の建設事業を最優先とします。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する									
【基本事務事業】	2005	消防施設の機能を強化する	担当課:	6001000										
【事務事業】	200502	小金消防署建設事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					404									
					戦略区分									
					—									
【目的】	大規模災害時等における危機管理体制の確立及び耐震性の向上を図るため、方面本部機能を充実させる	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		計画策定数(建設・移転)(件)	小金消防署の建設計画を策定する	0	0	1	0	0	計画額	0	0	0	0	0
		()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
									単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	被災者			0	0	0	0	0	【業務】	建設用地を確保する 建築設計案を策定する 基幹消防署機能を検証する				
				0	0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性									
小金消防署の実態調査及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度においても本事業を継続すべき事業であることが明確となった。					本事業の実施結果を基に、今後の事業を策定し反映していきます。									

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する									
【基本事務事業】	2005	消防施設の機能を強化する	担当課:	6001000										
【事務事業】	200503	消防施設管理事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					404									
					戦略区分									
					—									
【目的】	災害活動を迅速化するため、消防署機能の充実を図る。	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		維持管理率(%)	改修数/要改修数	66	100	100	100	100	計画額	324,413	343,139	319,548	301,452	304,941
		(%)		66	100	100	100	100	(一般財源)	323,574	343,139	317,249	299,938	304,142
				0	0	1	0	0	予算額	324,413	343,139	317,939	303,756	306,063
				0	0	0	0	0	(一般財源)	323,574	343,139	315,640	302,957	305,264
				0	0	0	0	0	決算額	320,755	337,774	316,115	306,865	310,105
				0	0	0	0	0	職員数	2.19	2.19	2.19	2.19	2.19
									単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	被災者			0	0	0	0	0	【業務】	消防署維持管理業務 訓練センター維持管理業務 車両維持管理業務 救助器具導入業務 防火水槽維持管理業務 消防指令管制システム運用業務				
				0	0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性									
消防関係施設・設備の維持管理を適正に実施された。また、消防指令管制システムの維持管理においても適正に実施されている。					今後も消防関係施設・設備の管理徹底を行う。また、消防指令管制システムにあつては平成22年の更新を行い、平成25年の運用開始を目標としている消防救急無線デジタル化及び指令業務の共同運用に向けての基本計画を策定する。									

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する				
【基本事務事業】	2005	消防施設の機能を強化する	担当課:	6001000					
【事務事業】	200504	消防団施設整備事業	消防局企画管理室						
			会計区分	一般会計	計画区分	計画事業	404	戦略区分	成長

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域防災拠点施設としての充実強化を図る	消防センター改築数(棟)	建設数/計画数	1	1	0	1	0	計画額	21,329	22,000	0	19,000	0
			1	1	0	1	0	(一般財源)	2,862	2,733	0	2,425	0
()	()	()	0	0	0	0	0	予算額	21,329	22,000	0	25,000	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	2,862	2,733	0	3,417	0
()	()	()	0	0	0	0	0	決算額	17,273	19,446	0	21,672	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
【対象】								【業務】 消防センターを建設する					
被災者								【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析

消防センターの整備・改築を実施することにより消防団活動を支援した。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

地域防災活動の核となる消防団の活動拠点を整備・改築する本事業は、市民を火災から守る最重要課題として継続事業とする。

【計画事業】

【計画事業名】 110地域防災活動拠点整備事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	消防センター建設工事	消防センター建設工事		消防センター建設工事	
実績	1施設新松戸12分団2班	1施設紙敷28分団1班		1施設上本郷2分団	

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2006 資源の再配分をする	【基本計画区分】	404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が発生しても迅速的確な消防活動により、火災を拡大させない体制を確立する	高齢化社会のあおりは現場職である消防にも影響を与えている	200601	常備消防管理事業	「消防力の整備指針」を基に、松戸市の適正人員を算出する。また、テクニカルリーダー制度及び予防技術資格者制度により、消防総合力を低下させないようにし、経験の少ない職員に技術・知識の伝授を図る。
		200602	消防基盤再構築事業	
		200603	消防音楽隊活動事業	

【今後の課題】
適正な組織定数管理、定数管理基準の見直し

【重要性】
消防力の要素のひとつである「人」を適正に配分することで、部隊としての力が維持できる

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
今後は職員の高齢化と共に、職員の大量退職時代に突入いたします。それに伴い職員の技術・知識の流出を防ぐための努力と、人材の適正配置が重要な課題となっています。	人的資源の再配分			100	100	100	100	100
	(%)			100	100	100	100	100
	()			0	0	0	0	0
	()			0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2006 資源の再配分をする	担当課:	6001000
【事務事業】	200601 常備消防管理事業	消防局企画管理室	
【目的】	【指標】	【指標概要】	【事業費】
消防局の事務を適正に執行する	監査の指摘数ゼロをめざす(件)	指摘を受けた数	【事業費】
	()		【事業費】
	()		【業務】
【対象】	市民		交際費
			管理運営業務
			職員研修業務
			維持管理業務
			広報活動業務
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績
			【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
			今後もテクニカルリーダー及び予防技術資格者の適正配置により、大量退職によるベテラン職員の技術及び知識の流出を防ぐ。
			【定量分析】:課題・現状分析
			テクニカルリーダー制度の導入及び予防技術資格者制度の実施により、現場活動における消防職員の技術・知識の向上がなされている。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する								
【基本事務事業】	2006	資源の再配分をする	担当課:	6001000									
【事務事業】	200602	消防基盤再構築事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					404								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
効率的な消防組織を実現するために、消防基盤の改革をする。	指標の達成率(%)	達成数/指標設定数	100	100	100	100	100	計画額	0	0	0	0	0
			100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
()	()	()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
()	()	()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
()	()	()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【対象】	市民(通勤・通学者を含む)		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 職員数 3.96 3.96 3.96 3.96 3.96 単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
消防組織の基礎となる人材育成計画及び車両整備計画を適正に実施することにより、消防力の基盤の底上げがなされた。							効率的な消防組織を実現するための計画策定及び見直し、消防基盤の整備を継続して実施する。						

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する								
【基本事務事業】	2006	資源の再配分をする	担当課:	6001000									
【事務事業】	200603	消防音楽隊活動事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					404								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民の防火防災意識の高揚を図るため広報の一端として活動する	出演回数(回)	出演(出前出演含む)回数>=39	39	39	39	39	39	計画額	1,338	1,199	879	1,266	1,324
			21	23	25	23	20	(一般財源)	1,338	1,199	879	1,266	1,324
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
()	()	()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
()	()	()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
()	()	()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【対象】	市民(通勤・通学者を含む)		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 演奏・演技の技術を向上させる 音楽隊の管理運営を行う 消防広報を行う					
【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
音楽演奏会を開催することにより、音楽を通じて年齢・性別を問わず全ての聴衆への防火防災意識高揚の啓発がなされた。							今後も防火防災意識の高揚及び音楽を通じての広報活動を継続して実施します。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2007 活動部隊を整備する	【基本計画区分】	404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が発生しても迅速的確な消防活動により、火災を拡大させない体制を確立する	行財政改革の中で公益性を考慮しながら、効率性を図る	200701	消防力基準算出事業	「消防車両の整備指針」及び「車両配置基準・車両平準化計画」を基に、整備計画を樹立し効果的な車両整備を図る。
		200702	消防車両整備事業	
		200703	消防団車両整備事業	
		200704	消防団車両維持管理事業	

【今後の課題】
既存車両の更新及び新規導入車両等に大きな予算が必要である

【重要性】
本市の実情に即した消防力の基準を算出し、車両及び装備品を研究精査し活動部隊を整備する

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
現在、署ごとに消防車両の仕様が異なり、全消防署が同じ仕様の車両を活用することによる消防活動の向上を図る。	市に関する全ての人			100	100	100	100	100
	(%)			100	100	100	100	100
	()			0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2007 活動部隊を整備する	担当課:	6001000
【事務事業】	200701 消防力基準算出事業	消防局企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
本市の実情に即した消防力の基準を算出する。	策定数(件)	策定数	1	1	1	1	1	計画額	0	0	0	0	0
	()		1	1	1	1	1	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
			0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】					
市民(通勤・通学者を含む)			0	0	0	0	0	部隊整備業務					

【定量分析】: 課題・現状分析
「消防力の整備指針」(平成17年消防庁告示第9号)に基づき本市の実情を鑑み、的確な消防力の整備目標を定めた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
今後も刻々と変わる本市の情勢を的確に把握・勘案し、具体的に現実的な消防力の整備指針を策定する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する								
【基本事務事業】	2007	活動部隊を整備する	担当課:	6001000									
【事務事業】	200702	消防車両整備事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				404	戦略区分								
					改善								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
最新車両・装備により消防部隊を強化する	新装備の導入率(%)	(車両導入率+新装備導入率)/2	100	100	100	100	100	計画額	60,206	198,575	30,550	130,929	68,997
			100	100	100	100	100	(一般財源)	31,706	16,535	2,517	10,012	14,793
			0	0	0	0	0	予算額	60,206	198,575	0	120,280	144,207
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	31,706	16,535	0	8,892	10,978
			0	0	0	0	0	決算額	34,699	182,333	0	121,245	142,223
			0	0	0	0	0	職員数	1.79	1.79	1.79	1.79	1.79
()	()		0	0	0	0	0	【業務】	消防車両整備計画を策定する				
			0	0	0	0	0		情報収集し検討する				
			0	0	0	0	0		車両を導入(更新)する				
【対象】	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績												
市民	【定量分析】: 課題・現状分析												
消防車両の仕様変更等を含め計画的な更新を図り、松戸市の都市形態にあわせた消防力の整備を実施した。						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
						今後は、急増する救急需要に対応するため、現在、六実消防署に配置の「消防救急車」の検証を行い、その結果、消防車両2隊運用署の水槽車の代わりとして「消防救急車」を導入する。また、8分消防体制を堅持するために車両平準化を進め、効果的な車両整備を図る。							

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する								
【基本事務事業】	2007	活動部隊を整備する	担当課:	6001000									
【事務事業】	200703	消防団車両整備事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				404	戦略区分								
					成長								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域に密着した消防力である消防団活動基盤の車両と装備品を導入する	更新計画に対する達成率(%)	整備数/計画数	100	100	100	100	100	計画額	19,250	17,000	15,000	12,750	12,300
			100	100	100	100	100	(一般財源)	3,798	1,248	1,154	761	1,137
			0	0	0	0	0	予算額	19,250	17,000	14,500	12,300	13,506
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	3,798	1,248	4,700	1,137	1,243
			0	0	0	0	0	決算額	16,998	16,960	14,385	12,272	13,498
			0	0	0	0	0	職員数	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
()	()		0	0	0	0	0	【業務】	消防車両整備計画を策定する				
			0	0	0	0	0		情報収集し検討する				
			0	0	0	0	0		車両を導入(更新)する				
【対象】	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績												
市民	【定量分析】: 課題・現状分析												
消防団車両と装備品を更新を図り、地域に密着した消防団部隊の整備を実施した						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
						今後も継続して消防団車両等の更新を行い、地域防災活動力の強化を図る							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2007	活動部隊を整備する	担当課:	6001000	
【事務事業】	200704	消防団車両維持管理事業	消防局企画管理室		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
消防団活動を維持する	維持管理率(%)	維持管理数/配置台数	100	100	100	100	100	計画額	2,481	5,014	3,784	3,593	3,472	
			100	100	100	100	100	(一般財源)	2,481	5,014	3,784	3,593	3,472	
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	2,481	5,014	3,784	3,472	3,611	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	2,481	5,014	3,784	3,472	3,611	
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	4,678	4,347	3,748	3,591	3,509	
			0	0	0	0	0	職員数	1.79	1.79	1.79	1.79	1.79	
								単位) 事業費:千円 職員数:人						
	【対象】 市民	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	車両装備品を維持管理する				
				0	0	0	0	0	消防団車両を維持管理する					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

消防団の車両及び装備品の維持及び管理を実施し、機能を十分発揮することができた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も車両及び装備品の機能を十分発揮するため、維持管理に努める。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 火災を拡大させない消防体制を確立する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2008 消防水利を整備する	【基本計画区分】	404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が発生しても迅速的確な活動により、火災を拡大させない体制を確立する	阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、消火栓が使用不能になる場合も想定しなければならない	200801	防火水槽整備事業	現状維持 消防水利を整備し消火活動に万全を期する。
		200802	消火栓設置等負担金	
		200803	その他水利整備事業	

【今後の課題】
防火水槽の親切設置は大きな金額が必要である。消火栓は県水道局の工事に合わせて消火栓の設置等が行われるので予定どおり進まない

【重要性】
開発・道路整備により居住圏が拡大されている

【現状分析】
新設消火栓は計画に基づき適正な設置を行い、既存消火栓については維持管理を徹底する。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防水利の充足率			0	0	0	0	94
(%)			89.5	89.5	89.5	89.5	89.5
消防水利計画の策定			1	0	0	0	0
(件)			1	1	1	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2008	消防水利を整備する	担当課:	6001000	
【事務事業】	200801	防火水槽整備事業	消防局企画管理室		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
				404	戦略区分
					改善

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
大震災時や水道施設の故障に対応するため防火水槽を増強、維持管理する	整備率(基)	整備数 / 計画数	1	1	1	1	1	計画額	11,074	17,450	0	914	1,000
			1	1	0	1	1	(一般財源)	3,156	6,057	0	914	1,000
	()		0	0	0	0	0	予算額	11,074	17,450	0	900	1,000
			0	0	0	0	0	(一般財源)	3,156	6,057	0	900	1,000
	()		0	0	0	0	0	決算額	7,770	17,376	0	787	893
			0	0	0	0	0	職員数	8.03	8.03	8.03	8.03	8.03
							単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【対象】							【業務】	防火水槽を設置する					
市民(通勤・通学者を含む)													

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

防火水槽を2基整備し消防水利の充実を図った。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

防火水槽の未整備地域に整備を行う。

【計画事業】

【計画事業名】 消防水利整備事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	設置1基	設置1基撤去1基		撤去1基	撤去1基
実績	設置1基(常盤平こでまり公園)	設置1基(道合第1公園)撤去1基		撤去1基	撤去1基

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2008	消防水利を整備する	担当課:	6001000	
【事務事業】	200802	消火栓設置等負担金	消防局企画管理室		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					404 戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防水利を確保する	整備数(基)	整備した数	20	20	20	20	20	計画額	16,000	10,814	10,670	8,370	8,370
			20	20	20	20	20	(一般財源)	16,000	10,814	10,670	8,370	8,370
	()		0	0	0	0	0	予算額	16,000	10,814	9,470	8,370	8,370
			0	0	0	0	0	(一般財源)	16,000	10,814	9,470	8,370	8,370
	0	0	0	0	0	0	0	決算額	13,760	10,791	9,025	8,317	8,364
0	0	0	0	0	0	0	職員数	8.03	8.03	8.03	8.03	8.03	
								単位) 事業費: 千円		職員数: 人			
【対象】								【業務】	消火栓を設置する 消火栓の維持管理を行う				
市民(通勤・通学者を含む)													

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

消火栓の設置及び維持管理を実施し、消火栓の充実を図る。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

消火栓を適正配置し、設置及び維持管理に努める

【計画事業】

【計画事業名】 消防水利整備事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画		設置、維持管理	設置、維持管理	設置、維持管理	設置、維持管理
実績		新設5基維持25基	新設5基維持25基	新設0基維持21基	新設3基維持10基

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	2	火災を拡大させない消防体制を確立する
【基本事務事業】	2008	消防水利を整備する	担当課:	6001000	
【事務事業】	200803	その他水利整備事業	消防局企画管理室		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					404 戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消火栓・防火水槽以外の水利を確保する	指定数(件)	指定水利数	5	5	5	5	5	計画額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
								職員数	8.06	8.06	8.06	8.06	8.06
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】 市民	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	有効な水利を確保する その他の水利を点検する				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

有効なその他水利を指定し消火活動に備える。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

有効なその他水利を指定し消火活動に備える。

【計画事業】

【計画事業名】 消防水利整備事業

【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画		有効な水利を確保する	有効な水利を確保する	有効な水利を確保する	有効な水利を確保する
実績					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	3 火災による被害を軽減する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2009 迅速的確に活動する	【基本計画区分】	404【担当課】 6002500 消防救急課

【目的】	市民を災害から守り、焼死者ゼロ及び損害額を軽減するために消防職団員の消火活動技術の向上及び消防機械装備を充実する	【背景】	建物の高層化・深層化が進み、様々な火災に対応できる現場能力が必要とされている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				200901	活動体制及び活動基準確立事業	市民を災害から守り、焼死者ゼロ及び損害額を軽減するために消防職団員の消火活動技術等の向上を継続的に実施する。
				200902	部隊運用事業	
				200903	部隊活動技術向上事業	

【今後の課題】
活動指針の整備

【重要性】
共通認識を持った火災防ぎにより、円滑な現場連携が可能である

【現状分析】
火災件数(建物火災)件数は年々減少傾向にある。延焼率も減少傾向にある。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
延焼率			70	70	70	70	70
(%)			0	0	0	76.3	70.5
()			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	3 火災による被害を軽減する
【基本事務事業】	2009 迅速的確に活動する	担当課:	6002500
【事務事業】	200901 活動体制及び活動基準確立事業	消防救急課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	現場活動が迅速、円滑に展開できるようにする	【指標】	活動体制の見直し数(件)	【指標概要】	活動体制の見直し数(策定数)	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						1	13	4	0	0	計画額	26	26	26	26	26
						1	13	4	0	0	(一般財源)	26	26	26	26	26
											予算額	26	26	26	26	26
											(一般財源)	26	26	26	26	26
						0	0	0	0	0	決算額	26	26	0	0	0
						0	0	0	0	0	職員数	0.66	0.66	0.66	0.66	0.66
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	消防職員・消防団員					0	0	0	0	0	【業務】	部隊活動技術を向上させる 災害活動指針を検討する 部隊活動を検証する 消防訓練センターを活用する				
						0	0	0	0	0	【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				

【定量分析】: 課題・現状分析
現場活動を迅速、円滑に展開するために、変更が生じれば随時見直しを図る。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
現状維持

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	3	火災による被害を軽減する									
【基本事務事業】	2009	迅速的確に活動する	担当課:	6002500										
【事務事業】	200902	部隊運用事業	消防救急課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					404 戦略区分 一									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
不測する災害に適応する対応を確立して活動体制を整える。	出場から活動開始までの短縮時間(分)	前年の所要時間ー当年の所要時間	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	計画額	0	0	0	0	0	
			2.2	3.8	3.5	3.4	3.3	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
									決算額	0	0	0	0	0
	(0)			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	職員数	49.87	49.87	49.87	49.87	49.87	
								単位) 事業費：千円 職員数：人						
	(0)			0	0	0	0	【業務】	災害出場業務 救急隊支援業務 活動障害の対応業務					
				0	0	0	0	【指標値】 上段: 予算目標 下段: 実績						
【対象】 消防職員・消防団員		【定量分析】: 課題・現状分析 消防職員、団員が消防活動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市民の安全・安心に貢献した							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 多種多様化する各種災害に即時対応するため、継続訓練を必要とする。					

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	3	火災による被害を軽減する									
【基本事務事業】	2009	迅速的確に活動する	担当課:	6002500										
【事務事業】	200903	部隊活動技術向上事業	消防救急課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					404 戦略区分 一									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えた隊員を育成する	到達度(%)	(技能到達度+体力到達度)/2	100	100	100	100	100	計画額	0	0	0	0	0	
			78.1	81.6	86.3	42.9	60.8	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
									決算額	0	0	0	0	0
	(0)			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	職員数	11.64	11.64	11.64	11.64	11.64	
								単位) 事業費：千円 職員数：人						
	(0)			0	0	0	0	【業務】	隊員の活動技術の向上業務					
				0	0	0	0	【指標値】 上段: 予算目標 下段: 実績						
【対象】 消防職員		【定量分析】: 課題・現状分析 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えた隊員を育成し、市民サービスの向上、及び市民の安全、安心に寄与できた。							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 現場活動を安全確実に行うための隊員育成については、今後も継続的に実施していくべき事項であり、その年度の必要性を捉え、計画的実施が望まれる。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20 市民を火災から守る	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	3 火災による被害を軽減する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	2010 地域に密着した消防団が街を守る	【基本計画区分】	404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【目的】	市民を災害から守り、焼死者ゼロ及び損害額を軽減するために消防職団員の消火活動技術の向上及び消防機械装備を充実する	【背景】	過去の例による大災害では、消防団をはじめボランティア団体が不可欠である	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				201001	消防団活動事業	住民との連携により災害から地域を守り、消防団の災害対応力を高めるため、地域防災の拠点となる消防団の活動を支援する。また、環境の整備及び活動支援並びに消防団員の確保をしなければならない。
				201002	消防団施設維持管理事業	
				201003	消防団員等公務災害補償等共済基金負	

【今後の課題】
定数の充足率

【重要性】
地震、風水害など広域にわたる災害が発生した場合、消防団の活動は地域のリーダー的存在である

【現状分析】
地域防災拠点となる消防団の活動を支援するため、環境の整備、活動支援及び消防団員確保をしなければならない。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
活動率			100	100	100	100	100
(%)			100	100	100	100	100
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	20 市民を火災から守る	【施策】	3 火災による被害を軽減する
【基本事務事業】	2010 地域に密着した消防団が街を守る	担当課:	6001000
【事務事業】	201001 消防団活動事業	消防局企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

【目的】	消防団活動を円滑にするため運営の支援をする	【指標】	活性化施策に対する改善率(%)	【指標概要】	改善数/活性化委員会決定事項	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						100	100	100	100	100	計画額	82,944	89,170	85,231	85,649	86,053
						100	100	100	100	100	(一般財源)	70,031	76,584	73,425	73,843	74,349
											予算額	82,944	89,170	85,231	86,053	86,084
											(一般財源)	70,031	76,584	73,425	74,349	74,380
						0	0	0	0	0	決算額	86,027	79,921	77,720	83,758	77,205
						0	0	0	0	0	職員数	0.76	0.76	0.76	0.76	0.76
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
						0	0	0	0	0	【業務】	消防団員報酬				
						0	0	0	0	0	交際費					
											消防団交付金					
											火災出動等費用弁償					
											消防団退職報償費					
											消防団管理業務					

【定量分析】: 課題・現状分析
消防団活動を円滑に進めるために運営の支援を有効的かつ効果的に出来た。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
消防団員の確保と活性化を図り、地域防災を担うべく、その活動の支援を有効的かつ効果的に出来た。今後についても現状を維持して行く。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/03/02

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	3	火災による被害を軽減する								
【基本事務事業】	2010	地域に密着した消防団が街を守る	担当課:	6001000									
【事務事業】	201002	消防団施設維持管理事業	消防局企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					404								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域防災拠点施設としての充実強化を図る	施設維持管理率(%)	維持管理数/施設数	100	100	100	100	100	計画額	2,115	565	548	548	453
			100	100	100	100	100	(一般財源)	2,115	565	548	548	453
								予算額	2,115	565	548	453	786
()	()	()	0	0	0	0	0	(一般財源)	2,115	565	548	453	786
			0	0	0	0	0	決算額	738	236	501	755	778
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
()	()	()	0	0	0	0	0	【業務】	消防センターの維持管理を行う				
			0	0	0	0	0						
【対象】	被災者												
【定量分析】:課題・現状分析	消防団施設を維持管理し消防団活動の充実を図る。						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 消防団施設を維持管理し消防団活動の充実を図る。						

【政策】	20	市民を火災から守る	【施策】	3	火災による被害を軽減する								
【基本事務事業】	2010	地域に密着した消防団が街を守る	担当課:	6001000									
【事務事業】	201003	消防団員等公務災害補償等共済基金負担金	消防局企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					404								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
被災者の救済、退職団員の報償	災害補償執行率(%)	適正な執行/公務災害発生数	100	100	100	100	100	計画額	13,218	13,218	13,851	13,851	13,898
			100	100	100	100	100	(一般財源)	13,218	13,218	13,851	13,851	13,898
								予算額	13,218	13,218	13,851	13,898	13,878
()	()	()	0	0	0	0	0	(一般財源)	13,218	13,218	13,851	13,898	13,878
			0	0	0	0	0	決算額	13,218	13,851	13,851	13,878	15,159
			0	0	0	0	0	職員数	15.79	15.79	15.79	15.79	15.79
()	()	()	0	0	0	0	0	【業務】	公務災害補償条例に基づき、適正な管理が行えた。今後についても現状を維持する。				
			0	0	0	0	0						
【対象】	被災者、退職団員												
【定量分析】:課題・現状分析	適正な給付が行えた。今後についても継続する。						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 公務災害補償条例に基づき、適正な管理が行えた。今後についても現状を維持する。						